

ベレー帽

布宮慈子^{やすこ}

始まりは演奏会に行くときの帽子つくらむと思ひしことなり

生地を買ふために見てゐるインターネット手触りなければ注文はエイツと

ネットにて生地を取り寄せ挑みたり四枚はぎのベレー帽に

モスグリーンのベレー帽がやうやくに出来あがりたりなかなかである

山形交響楽団^{やまがたきやうがくだん}の演奏会は中止にてネット配信を家で見てをり

家の中で帽子かぶつて山響の演奏聴きぬマスクはせず

なぜなのかネット配信の演奏に涙にじみ来^く 日常は遠し

フェルト帽の季節はとうに過ぎゆきてモスグリーンのベレー箱に仕舞はる

フェルト帽かぶつて行くこと叶ふのか秋の演奏会を誰も知らない

縫ふことは祈りに似たりミシン踏むたびにことばが生まれては消ゆ